

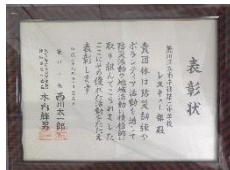
部活動などの活躍

《荒川区青少年表彰》

荒川区青少年育成地区委員会連絡協議会より、日頃の防災活動や地域活動が称され、「レスキュー部」に表彰状と楯が贈られました。また、怪我をした小学生に応急処置を施した功績を讃え、個人の部で3年の〇〇〇〇〇〇くんが表彰状が贈られました。

団体表彰：レスキュー部
個人表彰：〇〇〇〇〇〇くん(3-3)

▲レスキュー部を代表して、部長の市川 諒さんと副部長の〇〇〇〇〇〇さんが表彰を受けました。



▲個人の部で表彰を受ける〇〇〇〇〇〇くん

《1年生俳句大会》

荒川区文化祭俳句展入賞

〇〇〇〇〇〇さん(1-1)
〇〇〇〇〇〇くん(1-2)



▲表彰を受ける〇〇〇〇〇〇さん(左)と〇〇〇〇〇〇くん(右)

《薬物乱用防止ポスター・標語》

薬物乱用防止ポスターコンクール

佳作 〇〇〇〇〇〇さん(2-2)、〇〇〇〇〇〇くん(2-4)

薬物乱用防止標語

入選 〇〇〇〇〇〇くん(2-1)



▲左から、〇〇〇〇〇〇くん、〇〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇〇くん

南千住マイスターのコーナー

この日本でも最初の毛織物工場は、技術導入、運営などを一手にこなし、それまで輸入に頼っていた羊毛製品、洋服の国産化を実現した省三は、「日本毛織物工業の父」と称されています。千住製絨所は蒸気機関を用いた日本最初の毛織物(ワール)工場で、その技術は一般に公開されました。それがもとで、民間の毛織物会社、板紙会社、ガス会社などが次々に開業し、南千住から日本の近代工業が発展していくのです。

明治16年(1883)12月29日、製絨所の工場から出火、操業が出来なくなりました。省三は復興のために奔走し、工場を建て直します。しかしその心労からか、明治19(1886)年、静養中の熱海で肺結核のため逝去しました。42歳という若さでした。その後、製絨所は昭和20年まで操業し、終戦後は大和毛織がその操業を受け継ぎ、昭和35年までつづきます。

省三の偉業を讃え、荒川スポーツセンター脇に、井上省三君碑と胸像、そして日本羊毛工業発祥の地の碑が建てられています。

荒川工業高校西側と大手スーパーマーケット脇に、古い「赤レンガ塙」が残っており、区史跡として保存されています。この赤レンガ塙は明治時代から昭和初期に操業していた「千住製絨所」外回りの塙です。明治維新から約10年、日本の殖産興業、そして国内初の羊毛工業発祥の製絨所跡なのです。この製絨所の初代所長が「井上省三」です。

井上省三は、弘化2年(1845)長州・萩藩出身で、若い頃、山口兵学校で蘭学を学びます。明治になると、木戸孝允(剣豪)として名高い桂小五郎と同一人物に従い上京し、ドイツ語を習得します。その後、兵学を学ぶ目的でドイツに留学しますが、外国の進んだ技術を目の当たりにし、日本を豊かにしたいと殖産興業を志し、ドイツ・ベルリン郊外にあるザガンの毛織物工場に一職工として働きます。省三は4年間かけて毛織物技術を修得し帰国しました。その頃、内務大臣・大久保利通は、それまで高価な輸入に頼っていた毛織物の生地を国産化し、軍隊の制服も木綿からワールに切り替えたいと考えていました。そのために隅田川沿いのこの地が選ばれました。省三は帰国後、大久保の要請で内務省に出仕し、千住製絨所開業とともに初代所長に就任しました。

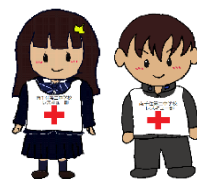
南千住と歴史上の人物 その8 『井上省三』と千住製絨所



荒川スポーツセンター脇 井上省三の胸像



題字:校長 齊藤 進



ナンちゃん・ニーくん



学校だより
平成29年12月
第80号
荒川区立南千住第二中学校

荒川区青少年表彰受賞

～地域との絆のさらなるつながりと広がりをも～

校長 齊藤 進



11月25日(土)に荒川区青少年育成地区委員会連絡協議会および荒川区の主催で第38回荒川区青少年表彰式が行われ、本校が個人そして団体の部で青少年表彰を受賞しました。個人では3年生の〇〇〇〇〇〇くん(3-3)が、団体ではレスキュー部がそれぞれ受賞しました。

橋本くんはレスキュー部(スーパーレスキュー部員)として救急救命講習を受講した経験を生かし、救急セットを常時携帯するなど、日ごろから救急に対して高い意識をもっていました。今年7月に、自転車に乗った小学4年生が転倒したのを見かけた際は、ケガの状態を判断し、携帯していた救急セットを活用して応急処置を行いました。

レスキュー部は平成24年度に東日本大震災を契機に設立されました。以来6年にわたり、地域との連携を活動の基盤として、学校防災訓練や多くの防災訓練、保育園との合同避難訓練、絆ネットワーク活動等を行うなど、地域の防災に取り組んできたことと、青少年育成南千住地区委員会主催事業にボランティアとして部員が参加するなど地域への貢献が受賞理由となりました。

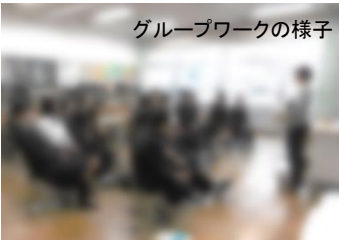
本校レスキュー部は、東京都教育委員会表彰、都知事感謝状、東京消防庁第12回防火防災功労賞最優秀賞(消防総監賞)、日本防火防災協会会長賞などを受賞しました。全国表彰の授賞式で審査委員長が受賞理由として「活動の継続性と広がり」を挙げました。創部から4年目での受賞でしたが、その活動の継続性と設立当初65名でスタートしたレスキュー部員が240名を超えるまで増えていることと、絆ネットワーク活動に見られるように、地域とのつながりと広がりが認められたことによるものです。絆ネットワーク活動は、災害発生時に地域の方々が避難生活を余儀なくされたとき、中学生が生活支援等を行うために日ごろから顔見知りになることと、高齢者宅を毎月訪問することで安否確認も兼ねており、部員がやりがいをもって生き生きと取り組んでいます。

荒川区青少年表彰を受賞したことは本校にとって大変に名誉なことです。これからも地域の方々との絆をさらに深め、地域に貢献する生徒の育成に努めていきたいと思っております。

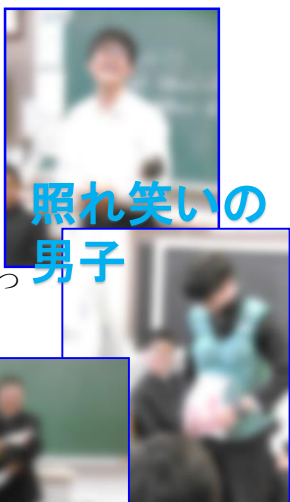


2年生 性教育講演会

11月14日(火)の午後、東京女子医科大学看護学部の小川久貴子先生を講師にお招きして、2年生の「性に関する健康教育」が行われました。前半の全体会では“思春期をむかえると、心や体にどのような変化が起こるのか”“男子と女子の気持ちと行動はどのように違うのか”など「性」に関する知識や「命」の大切さ、そして妊娠のリスクや性感染症、健康的なストレスの解消法などについて映像を交えながらお話いただきました。後半はクラスごとに男女に分かれ、東京女子医科大学の学生さんを交えて、グループワークが行われました。ここでは、自分の将来の人生設計について考えてみました。“高校を卒業してどのような道に進むのか、何歳ぐらいで結婚して、子どもはいつぐらいにほしいのか”など中学生にとってははじめて向き合う自分の未来や家族のことに、想像ができない様子でしたが、その後、妊婦体験をしたり、新生児の人形を抱いてみるなどの体験で少しずつ実感がわいてきた様子で、自分が大人になった時に体験する大切なこととして、興味深げな表情に変わっていききました。また、歳の近い学生の皆さんとの話は大いに盛り上がり、大変充実した時間となりました。「性」について正しい知識を得て、やがて将来に役立つとても大切なことを学ぶことができた貴重な体験となりました。



グループワークの様子



照れ笑いの男子



優しい表情の女子



環境委員会 落ち葉掃き

南千住二中の校舍周辺には、多くの街路樹や樹木に囲まれた緑道などがあり、初冬を迎える頃には、たくさんの落ち葉が道路を覆います。毎日主事さんが掃き集めますが、夕方にはまた落ち葉がたまります。そこで、毎年生徒会環境委員会が委員会活動の一つとして、早朝の落ち葉掃きを行っています。今年は11月13日(月)～17日(金)の1週間と期末考査を挟んで11月27日(月)～12月8日(金)の2週間の合わせて3週間、毎朝8時に登校して、生徒の登下校や近隣の方々の生活道路として利用されている緑道を中心に清掃しました。この間に集まった落ち葉の量は、90Lのゴミ袋10個以上にも上りました。おかげで、校舍周辺も道路もすっきりきれいになりました。

環境委員会ではその他にも雨の日以外の毎日、玄関周りの鉢植えや植栽への水やりを当番制で行っています。そして、毎月10日、20日、30日は“ごみゼロデー”として、通学路や学校周辺のごみをひろうごみゼロ運動も行っています。南千住二中を訪れる人々や地域の皆さんが“きれいな学校ですね”と褒めてくださるのは、環境委員会のこのような活動があるからです。

環境委員会の皆さん、毎日ありがとうございます。



毎朝の水やり



落ち葉掃きを今年は3週間行いました。



ごみゼロ運動

部活動などの活躍

南二中学生は部活動、検定、各教科の作品など様々な分野で活躍し、高い評価をいただきました。多くの表彰を受けましたので、今月号では中面ページでも紹介します。

《税についての作文》

- 都税事務所長賞** ○○○○さん(3-1)
作品名「税金が“当たり前”をつくる」
- 荒川納連奨励賞** ○○○○さん(3-3)
作品名「税の大切さとあり方」
- 税の標語入選** ○○○○さん(1-2)
作品名「税金は国を動かすエネルギー」



○○さん

○○さん

《読書感想文》

- 荒川区読書感想文コンクール**
- 優秀賞** ○○○○さん(3-4)
作品名「アゴタの母国と私の母国」
～文盲アゴタ・クリストフ自伝を読んで～
- 優秀賞** ○○○○さん(2-2)
作品名「100万回生きたねこ」
～100万回生きたねこを読んで～
- 佳作** ○○○○さん(1-1)
作品名「コスモス」～夏の庭を読んで～



左から○○さん、○○さん、○○さん

東京都読書感想文コンクール

- 佳作** ○○○○さん(3-4)、○○○○さん(2-2)

《実用英語技能検定》

- 準2級** ○○○○さん(3-1)
- 3級** ○○○○くん(3-1)、○○○○くん(3-1)、○○○○さん(3-1)、○○○○くん(3-2)、○○○○さん(3-2)、○○○○さん(3-2)、○○○○くん(3-3)、○○○○くん(3-4)、○○○○くん(3-4)、○○○○さん(3-4)、○○○○さん(3-4)、○○○○くん(2-1)、○○○○さん(2-2)、○○○○くん(2-3)、○○○○くん(2-4)、○○○○さん(1-3)
- 4級** ○○○○くん(2-3)、○○○○くん(2-4)、○○○○くん(1-3)、○○○○さん(1-3)、○○○○くん(1-4)、○○○○くん(1-4)、○○○○さん(1-4)
- 5級** ○○○○くん(2-2)、○○○○くん(2-3)、○○○○くん(1-1)、○○○○さん(1-1)、○○○○さん(1-1)、○○○○くん(1-2)、○○○○くん(1-3)、○○○○くん(1-3)、○○○○くん(1-4)、○○○○くん(1-4)、○○○○さん(1-4)



英検準2級取得の○○さん

《実用数学検定》

- 準2級** ○○○○さん(3-3)
- 3級** ○○○○さん(3-1)、○○○○さん(3-1)、○○○○さん(3-1)、○○○○くん(3-2)、○○○○くん(2-4)
- 4級** ○○○○くん(2-2)、○○○○さん(2-3)、○○○○くん(1-2)、
- 5級** ○○○○くん(1-2)、○○○○くん(1-2)、○○○○さん(1-3)、○○○○くん(1-4)
- 6級** ○○○○くん(1-1)



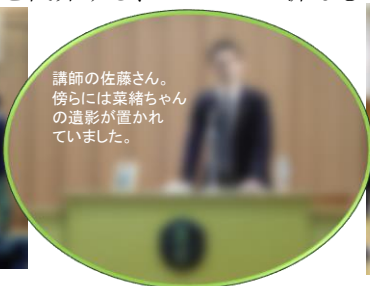
数検準2級取得の○○さん

命の大切さを学ぶ教室

12月9日(土)に行われた公開授業の3校時に、アリーナを会場にして「命の大切さを学ぶ授業」が行われました。講師にお招きした佐藤清志さんは、犯罪被害者遺族と思わず話を聞いてほしいと前置きしてから、最愛の娘を突然の交通事故で亡くされてからの日々、そしてその思いをお話くださいました。青信号の横断歩道を渡っていた幼稚園児の菜緒ちゃんは左折してきたダンプカーに巻き込まれ命を落としました。連絡を聞き、病院で対面した姿は顔から判別がつかないほど悲惨なものでした。唯一残されていた手を握って、いつも散歩に行くとき握る手だとわかり、身元の確認ができました。事故の状況を涙を流しながらお話くださる姿に会場は静まりかえり、全員が姿勢を正して耳を傾けました。自分の愛する家族が同じような被害にあったとき自分は思うだろうという問いかけに、自分の命、家族の命…すべての人の命がかけがえのない大切なものであることを強く心に刻みました。お話の最後に、静かに私の話を聞いてくれてありがとう、というお礼の言葉をいただき、どの生徒も真剣な眼差しで佐藤さんを見つめて話を聞いていたことが伺えました。生徒を代表して、生徒会長の○○○○くん(2-1)がお礼の言葉を、生徒会役員の○○○○さん(2-3)が花束贈呈を行いました。○○くんの言葉は「昨日まで当たり前だったはずの生活が突然にして奪われてしまうことをとても悲しく感じました。今日のお話を聞いて、自分の行動により責任をもち、これからも自分の友だちや家族、まわりの人をより大切にしていきたいと強く思いました。」という、生徒の今の気持ちを代弁する、たいへん立派なものでした。



お礼の言葉を○○くんが花束贈呈を○○さんが行いました。



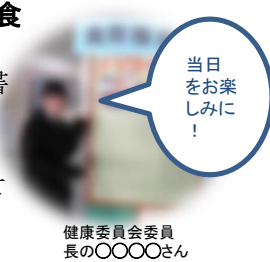
講師の佐藤さん。傍らには菜緒ちゃんの遺影が置かれていました。



アリーナを会場にして行われた授業の様子

健康委員会 食育推進給食

年に一度、南千住二中では給食に“食育推進給食”の特別メニューが登場します。食育推進給食とは、子どもたちが食に対する正しい知識とバランスの良い食生活を身につけることを目的として、学校給食全体のさらなるレベルアップを図るもので、荒川区より給食費の補助を受けて行っています。今年健康委員会の皆さんが1組、2組、3組、4組のグループに分かれて、世界の料理から今回の特別メニューを考えました。主菜部門は、1組が“ハワイのロコモコ丼”、2組が“アルゼンチンのカルボナーダ”、3組が“スペインのパエリア”、4組が“インドネシアのサテ”。デザート部門は、1組が“トルコのレヴァニ”、2組が“カナダのティムビッツ”、3組が“ロシアのベイクドアップル”、4組が“フランスのみかんタルト”を選び、各国の歴史や特色、食習慣などとともに、見て楽しい壁新聞にまとめ、11月27日(水)～12月1日(金)の1週間各学年のフロアに展示しました。壁新聞はタブレットを使ったり、図書館で調べてわかりやすくまとめられており、休み時間になると展示のまわりは人だかりができました。「どれも美味しそう」「全部食べてみたい」という声も聞こえてきました。そして、迷いながらも生徒たちは、主菜部門とデザート部門それぞれの気に入ったメニューに投票。得票数が多かった1位と2位の料理が、人気メニューとして来年1月24日(水)～30日(火)の給食に登場します。



当日をお楽しみに！

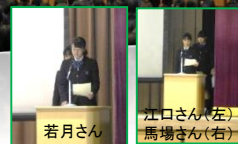
健康委員会委員長の○○○○さん



ワールドスクール報告会



パワーポイントを使った発表の様子

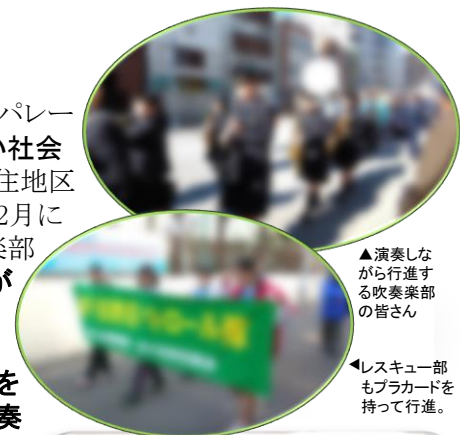


江口さん(左) 馬場さん(右)

12月11日(月)の全校集会で、ワールドスクールの報告会が行われました。ワールドスクールは、英語を活用した色々な体験を通して、英語のスキルや興味・関心を高める活動です。今年、8月3日(木)から6日(日)の4日間、秋田県で開催され、南千住二中からは、馬場 莉音さん(3-1)、江口 朱瑠さん(3-3)、若月 優笑さん(3-4)の3名が参加しました。パワーポイントを使って行われた報告会では、1・2日目は竿灯祭りの映像を見たり、農業体験で枝豆取りを行った様子が動画や写真を使って紹介されました。また、3日目からは班に分かれてプレゼンテーションの準備を始め、4日目には皆でアイデアを出し合い、練習を重ねた結果を英語で発表した様子が紹介されました。英語で意思を伝える楽しさや正しい発音の仕方などを楽しい体験を通して学ぶことができた4日間でした。

社明パレード

12月3日(日)、南千住地区『社会を明るくする運動』の街頭パレードが行われました。社明パレードは犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な活動で、青少年育成委員会の南千住地区委員会では“非行のない明るい街づくり”を目指して、毎年12月に行っています。南千住二中からは毎年レスキュー部と吹奏楽部が街頭パレードに参加。今年はレスキュー部の2年生18名がボランティアとして、会場やパレードの準備や片付け、プラカードを持ってパレードに参加するなどしました。また、吹奏楽部13人は南千住二中の先頭に立ち、南千住二中の校庭をスタートして、コツ通り、仲通り、荒川一中までのコースを演奏しながら行進しました。この日演奏した行進曲は、「荒川そして未来へ」「聖者の行進」「負けないで」の3曲。1か月ほど前から練習を重ね、実際に楽器を持って1時間近くを演奏しながら歩く訓練も行ってきました。当日は冷たい風が吹く中、隊列の先頭に立ち、パレードをリードし、休むことなく長い道のりを演奏し続けました。明るく元気なマーチングソングが街に響き、南千住の街がさらに活気あふれる1日でした。吹奏楽部の皆さん、レスキュー部の皆さんお疲れさまでした。



▲演奏しながら行進する吹奏楽部の皆さん

◀レスキュー部もプラカードを持って行進。



社明パレードに参加した皆さん

～年賀状作り～

12月に入り、レスキュー部では、年賀状作りを行いました。これは、荒川区社会福祉協議会の依頼を受けて、区の『みまもりネットワーク事業』に登録している一人暮らしの高齢者の方々へ年賀状をお送りする活動に協力して毎年行っています。加えて、南千住二中の『絆ネットワーク』に登録いただいている近隣の皆さまにもお送りしています。今年、12日(火)と13日(水)の2日間にわたり、レスキュー部とボランティアの有志32名が放課後の時間を利用して、合計80通以上の年賀状を書き上げました。日頃お世話になっている皆さまへの感謝とご健勝を願う気持ちを一枚一枚に込めて作った力作揃いです。



ただ今、年賀状制作中！

